



9月に入り、朝夕には涼しい風を感じられるようになりました。9月上旬は学校でも暑さのために運動場に出られる日がほとんどありませんでした。しかし最近では、運動場に児童の元気な声が戻りつつあります。また各学年では、様々な行事に向けての活動も始まっています。

2学期も保護者や地域の皆様には、本校の教育活動にご理解・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

「令和7年度全国学力・学習状況調査」の結果から

今年の4月17日に、本校は6年生を対象に国語・算数・理科の全国学力・学習状況調査を行いました。結果は、国語と理科が全国平均を上回り、算数は全国平均を下回る結果となりました。今後結果を分析し、今後の取り組み方を検証していく予定です。詳しい結果は、以下の通りです。

【国語科について】

本校 72（全国平均 66.8 + 5.2 ポイント）

国語科では、6つの検査領域〔①言葉の特徴や使い方に関する事項、②情報の扱い方、③我が国の言語文化に関する事項、④話すこと・聞くこと、⑤書くこと、⑥読むこと〕で、すべての項目が全国平均を上回っていました。特に④（話すこと・聞くこと）が、+6.9 ポイント、⑤（書くこと）が+8.5 ポイントと、全国平均より大きく上回りました。しかしその一方「漢字の無回答」や「事実と感想、意見などとの関係を、叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する。」ことが課題として見られました。

【算数科について】

本校 54（全国平均 58.0 - 4.0 ポイント）

算数科では、5つの検査領域〔①数と計算、②図形、③測定、④変化と関係、⑤データの活用〕で、すべての領域が全国平均を下回りました。特に2つの項目③（測定）が、-13.3 ポイント、④（変化と関係）が-8.7 ポイントと、大きく下回りました。

算数については、児童質問紙からも苦手意識が見られ、「算数が得意ではない。」と回答した児童が7.9 ポイント、「算数が好きではない。」と回答した児童が12.2 ポイント全国平均を上回っていました。その一方、「分からない問題は、あきらめず様々な方法を考える。」と、回答した児童の割合が10ポイント以上高く、努力して取り組む姿勢が見られました。

【理科について】

本校 63（全国平均 57.1 + 5.9 ポイント）

理科では、4つの柱とする領域検査領域〔①エネルギー域、②粒子、③生命、④地球〕で、すべての項目が全国平均を上回っていました。特に③（生命）が7.1 ポイントと大きく上回りました。

【児童質問紙から見えてきた6年生の実態について】

(1) 基本的生活習慣の状況 **以下、「○」全国を上回っているもの、「△」下回っているもの**

- ： 決まった時刻に起床。
- △： 毎日の朝食摂取。決まった時刻に就寝。

(2) 自己肯定感・規範意識

- ： 先生はあなたの良いところを認めてくれる。将来の夢や目標を持っている。いじめはどんな理由があってもいけない。学校は楽しい。分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫している。
- △： 普段の生活の中で、幸せな気持ちになる。自分によいところがある。人の役に立つ人間になりたい。

(3) 人・地域とののかかわり

- ： 人が困っているときに進んで助ける。困り事や不安な時に、先生や学校にいる大人に相談できる。地域や社会をよくするために何かしてみたい。自分と違う意見について考えるのは楽しい。友だち関係に満足している。

(4) 家庭学習・学習環境について

- ： 学習時間1時間以上（平日、土・日）。家に100冊以上の本がある。
- △： 授業以外に10分間以上読書をする。新聞を読んでいる。読書が好き。学習塾や家庭教師の先生に教わっている。

(5) タブレットなどICT機器の使用について

- ： 5年生までの学習で、タブレットなどのICT機器の活用は、自分のペースで学習を進めることができる。分からないことがあったときにすぐに調べることができる。ICT機器を使って文章を作成できる。
- △： 授業時間外の学習使用時間。PCやタブレット等のICT機器を使って、学校のプレゼンテーション（スライドショー）を作成できる。

(6) 学校での学習について

- ： 5年生までに受けた授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間になっている。学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように文章の書き方を工夫している。算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法で考える。小数や分数の計算をするとき、工夫して計算しようとしている。理科の勉強は得意。理科の勉強は好き。
- △： 国語の勉強は好き。算数の勉強は得意。算数の勉強は好き。算数で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う。

【今後の学力・学習状況改善の取り組みについて】

(1) 学校での取り組みについて。

- ・ 国語科では、昨年度までの取り組みとして良かった指導方法を継承しつつ、失敗も認められ、安心して再チャレンジしようとする取り組みの指導に努めます。また、自分の考えを整理してノートにまとめる活動を多く取り入れ、文章構成の指導を再確認していきます。

- ・ 算数科では、教科の学習に自信が持てるよう、朝学習や家庭学習の中で繰り返し基礎・基本の定着を図っていきます。また、図や絵に描いてから立式することを習慣化し、児童一人ひとりの考え方を明らかにする指導に努めていきます。さらに、算数が生活の身近な存在であることに気付けるよう取り組みます。
- ・ 理科では、昨年度までの取り組みとして良かった指導方法を継承し、児童が自信を持って学習に取り組めるよう努めます。
- ・ 基本的生活習慣については、日頃の児童の生活習慣の見直しが必要だと感じています。生活習慣の大切さの学習を進めていきます。
- ・ 自己肯定感・規範意識については、概ね学校生活は肯定的に捉えています。しかし、自分に自信を持てていないことが伺えます。一人ひとりが周りから認められる取り組みを進めていきます。
- ・ 人、地域とのとのかかわりについては、今後も様々な人々と出会うことを通して、人との関わりを大切にする取り組みを進めます。
- ・ 読書に親しむ取り組みについては、テストの後などの空いた時間に読書に親しむなど、読書が習慣化する取り組みを進めます。
- ・ タブレットなどＩＣＴ機器の使用については、学年に応じて、学習の振り返りをする際に、プレゼンテーションファイルを使用した取り組みを進めます。
- ・ 学校での学習については、今後も子どもたちが主体的に取り組もうとできる工夫に努めます。

登下校時の水筒の持ち方について

先日、報道でも紹介されていましたが「水筒を斜め掛けで持っていた児童が転倒した際に、水筒が腹部と地面に挟まり、児童の大きなけがにつながった。」という事例がありました。

手にもって歩行すると、転倒した際の危険が生じます。ランドセルなどの背負うカバンに入れて持ち運ぶことが望ましいですが、荷物の量によっては難しい場合もあります。

そこで、斜め掛けに水筒を持つ際には走らないことや水筒を持ったまま遊ばないことなどを、学校でも指導しました。ご家庭でも、お子さんに声掛けしていただきますようお願いいたします。



お知らせ

- (1) 9月1日より、学習支援員として新たに篠原則子（しのはらのりこ）が着任いたしました。
- (2) 学校では、集団登校の際、グループに日傘をさしている人が1人でもいる場合は、1列で歩くことを指導しています。